

2019年度医薬品包装懇話会活動と講演テーマ要旨

☆：医薬品包装懇話会は、年間4回、8講演で開催しております。また、不定期ですが特別企画として、医薬品工場などの見学会を開催する予定であります。また、各例会終了後に、1時間程度の情報交換会を講師及び参加会員で活発な意見交換を実施しております。

☆：医薬品包装懇話会に入会した会員様には、開催日の1か月前くらいに、医薬品包装懇話会ニュースによる開催のご案内と参加申込書を郵送又は、メール配信をいたします。

☆：是非とも2020年度医薬品包装懇話会会員に入会することをお勧めします。

開催日	テーマと講演要旨
第1回幹事会 5月31日(金) Am	2019年度医薬品包装懇話会の担当幹事、開催日程、テーマ・講師の確認および進捗状況報告 (会員登録数：130名) 出席者：大澤代表幹事、担当幹事(8名)、事務局
第149回 5月31日(金) 申込者数 122名	テーマ1：『医薬品包装の封緘』 講師：(株)タカラ 東京メディカル推進部 部長 伊丹 一海 氏 『医薬品の封緘見直し』に関する局長通知、Q&A、日薬連でのガイドライン見直し等を受けて、医薬品封緘のラベル、テープの販売実績から、通知に対応する封緘方法の説明、封緘の評価(粘着力、保持力)、ラベル・テープの違い、取り扱い上の注意など、封の見直し対応に際して、幅広く貴重な情報のご講演をいただいた。 担当幹事：第一三共ヘルスケア(株) 金子智彦 テーマ2：『GS1コード等での患者安全管理と将来への期待』 講師：市立伊丹病院 伊丹市病院事業管理者 中田 清三 氏 「安全で、質の高い医療を、効率よく」と言う臨床における基本的な考え方の下、トレーサビリティの重要性、GS1コードの詳細な説明とその世界活用例、市立伊丹病院でのトレーサビリティ実施項目と事例およびその有効性を示すミス率減少のデータ、PTPシート誤飲の危険性を具体的なデータについての報告と対策の必要性のご講演をいただいた。 担当幹事：(株)マイクロ・テクニカ 清水太一
第150回 9月20日(金) 申込者数 104名	テーマ1：『後発薬の市販後情報に関するデータベース化の取り組み』 講師：(株)榎本薬品 代表取締役社長 高槻病院 小児科医師 榎本 真宏 氏 ジェネリック医薬品は複数の企業から製造販売されているが、製剤や包装材料の工夫に対する使用者評価の客観的データが乏しい。先生は小児科医師並びに医薬品卸業の経営者での立場からこの状況をジェネリック医薬品の課題と捉え、安心してジェネリック医薬品を使って頂く目的で産学連携の基、客観的なデータ収集分析の状況についてご講演をいただいた。 担当幹事：藤森工業(株) 内田陽司郎 テーマ2：『ロボットの方向性と包装ラインへの活用事例』 講師：(株)安川電機 ロボット事業部 部長 真田 孝史 氏 ロボットの市場動向をはじめ、ロボットの構造や種類などの基礎およびロボットを活用した包装ラインについて、①ライン設計の考え方と注意事項、②ロボットとカメラを活用した包装ライン事例、③安全対策、などのご報告と今後に期待される「人協働ロボット」へのご講演をいただいた。 担当幹事：ダイト(株) 落合誠

特別企画 10月16日(水) 申込者数 50名	『東亜薬品工業(株) 館林工場様の見学会』 今回の医薬品包装懇話会は特別企画として、「健康の源は腸にあり」を掲げ、活性生菌製剤を主力にプロバイオティクス市場をリードしている東亜薬品工業(株)館林工場(群馬県館林市)の見学会が実施しました。 担当幹事：大澤總弘
第151回 11月1日(金) 申込者数 130名	テーマ1：『海外の国際展示会に見る 医薬品・医療包装の動向について』 講師：(株)東洋紡パッケージング・プラン・サービス 技術総括部超 松田 修成 氏 ファーマパック2019を中心に、医薬品包装が医薬品、医療技術の開発発展による強い影響を受け、材料、デバイス、システムにも多数の新提案があり、ここ数年多様化がかなりのスピードで進んでおり、日本でも世界をリードするような医薬品包装を開発・提供できるよう、定期的に海外の情報をモニタリングする必要があるとのご講演をいただいた。 担当幹事：(株)タケトモ 伊藤浩明 テーマ2：『最近の医薬品包装の話題』 講師：東京薬科大学 薬学部 臨床薬剤学教室 教授 下枝 貞彦 氏 医療用医薬品のパッケージは、医療機関での識別、調剤性のほか、患者さんによる薬剤の取り出し性ほか多くの条件を包含して設計、表示がされているが、下枝先生には、誤投与リスク軽減を目的とした医薬品の包装仕様と表示について、その視認性の良し悪し、どう改良するべきなのかについて、大変多くの具体的な製品写真を示しながらご講演をいただいた。 担当幹事：(一社)日本血液製剤機構 滝澤良博
第152回 2月21日(金) 申込者数 128名	テーマ1：『医薬品を中心に良かった包装について』 講師：(公財)共用品推進機構 専務理事 星川 安之 氏 第152回医薬包装懇話会は、別の観点から医薬品包装を捉え、デザインの講演を二題行いました。第一部では、公益財団法人共用品推進機構星川講師より、障害の有無、年齢の高低にかかわらず共に使える製品やサービスの普及に繋がる包装についてご講演を頂きました。 担当幹事：(株)旭紙工 浦川英三 テーマ2：『デザイン思考による医薬品パッケージデザイン開発』 講師：(株)ブラグ 代表取締役社長 小川 亮 氏 デザイン思考型開発では、使う人の立場にたった「観察」をまずしっかりと行ない、異分野の人達からの「アイデア」収集、具体的なイメージを可視化するための「試作」(実物でなくCG等も多様)のフィードバックをもとに何回も繰り返し、らせん階段を上るようにプロセスが進められる。これによりフレームの外にある、理にかなった新しい解決策を見出すことができることにより、院内吊り下げ型の栄養補助食品やプレフィルドシリンジの取り違い防止を目的としたデザイン変更などを幾つかご紹介いただいた。 担当幹事：ファイザー(株) 大場直美
第2回幹事会 2月21日(金) Am	2019年度活動実績報告、担当幹事の変更、2020年度活動方針、開催日程、テーマ・講師の検討 平成2020年度例会開催予定日：5/29(金)、9/25(金)、11/6(金)、2/10(水) 出席者：大澤代表幹事、現担当幹事(8名)、事務局